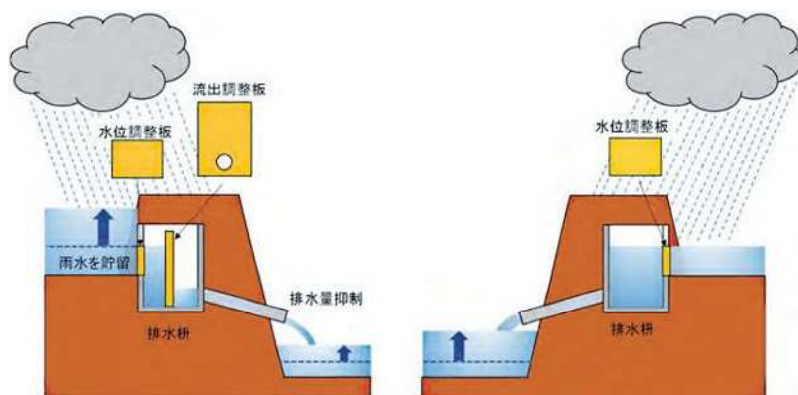


3. 多面的を活用した田んぼダムの取組について

田んぼダムとは・・・

豪雨等による浸水・洪水被害が多発するなか、水田の持つ貯留機能（水を溜める機能）を活用し、降った雨が一気に流出することを防ぎ、下流域での浸水・洪水被害の軽減を図る取組です。田んぼの排水柵に堰板等を取り付けることで流出を緩やかにします。



田んぼダムの取組に多面的機能支払交付金を活用する場合の活動項目

【資源向上支払交付金（共同）】

ア 農村環境保全活動のうち、「水田貯留機能増進・地下水かん養」

イ 多面的機能の増進を図る活動のうち、「防災・減災力の強化」

【資源向上支払交付金（長寿命化）】

ウ 県が独自に定める活動項目のうち、「農用地の更新等」

- 田んぼダムに取り組み面積が活動期間の最終年度までに資源向上支払（共同）の交付を受ける田面積全体のうち5割以上（広域活動組織にあっては、加算措置に取り組み集落毎に、交付を受ける田面積全体のうち5割以上）となる場合、以下の要件を満たせば交付単価に以下の金額が加算される措置があります。（加算措置：水田の雨水貯留機能の強化（田んぼダム）を推進する活動への支援）
 - ・ 上記活動項目のア又はイのどちらかを活動計画に位置付けること。
 - ・ 市町村が策定する「水田貯留機能強化計画」に基づき、田んぼダムの実施面積、年度別計画及び位置図を活動計画書に記載すること。

資源向上支払交付金（共同）全対象農用地（田）	400円/10a
------------------------	----------

- 多面的機能の増進を図る活動に取り組み場合、取り組まない場合に比べて交付単価がアップします。

資源向上支払交付金（共同）の交付単価

多面的機能の増進を図る活動に取り組み場合	基本単価×6/6
〃 取り組まない場合	基本単価×5/6

- 多面的機能の増進を図る活動のうち、2項目以上に取り組み場合（すでに取り組みしている場合は、さらに1項目以上追加して取り組み場合）、交付単価に以下の金額が加算される措置があります。（加算措置：多面的機能の更なる増進に向けた活動への支援）

地目	田	畑	草地
加算単価	400円/10a	240円/10a	40円/10a

多面的機能支払ネットワーク通信



発行 宮崎県多面的機能推進協議会
 （宮崎県土地改良事業団体連合会内）
 TEL 0985-24-3361 FAX 0985-29-9107
 HP <http://nouchimizu-kyougikai.com/>



2024.3 March

目次

- 1. 令和5年度水路補修等技術現地講習会・・・ 1
- 2. 多面的を活用した田んぼダムの取組について・・・ 4

1. 令和5年度水路補修等技術現地講習会

令和6年2月16日（金）に国富町において、令和5年度水路補修等技術現地講習会を実施しました。多面的機能支払で行うことのできる水路目地補修について、宮崎県土地改良事業団体連合会総務部施設管理課の職員が施工方法（シーリング工法、水中パテ工法、テープタイプ工法）の説明と実演を行い、参加した活動組織の方にも実際に施工を体験していただきました。

また、活動における安全対策についても説明を行い、特に異常気象時の見回り等は複数人で行うこと、事故発生時には速やかに市町村に報告することを徹底するよう注意喚起を行いました。



実演の様子

水路目地補修の手順

補修箇所の清掃

目地補修を実施する前に補修箇所の清掃をします。きちんと清掃しておくことで、補修材の強度が増し、長持ちします。

- ① 水路内のゴミを掃除します。
- ② 目地周りのゴミや雑草等、取れるものはすべて取り除きます。
- ③ 目地のコンクリート片や、目地の間に溜まっている泥や砂利、草の根等も取り除きます。
- ④ シーリング材や水中パテを使用する場合、ディスクグラインダー（電動研削機）で目地やひび割れに切り込みを入れ、材料が注入できる隙間を作ります。
- ⑤ コンクリートの壁面、底面の汚れをワイヤブラシ等（今回は鉄のブラシを使用しました。）で擦り取っておきます。
以上で完了です。



水路の清掃の状況

シーリング工法

目地の隙間や、水路のひび割れにシーリング材を注入する方法です。

- ① 補修範囲にプライマーを塗布します。プライマーは、補修材に適したものを使用します。
- ② 目地の隙間が大きい場合は、先にバックアップ材を詰めて補填します。
- ③ 目地際ギリギリにマスキングテープを張ります。
- ④ シーリング材の容器の口をカッター等で切断し、コーキングガンにセットします。シーリング材の容器の口は斜めに切ると作業がしやすいです。
- ⑤ シーリング材は多すぎると思うくらい、目地にたっぷり注入します。
- ⑥ シーリング材をへらで下から上に均一に塗り伸ばします。（表面を均します。）
- ⑦ 注入後、マスキングテープを剥がします。シリコン系は硬化が始まるのが早いので、手早く行います。



シーリング材注入の状況



へらで塗り伸ばしている状況

- ⑧ シーリング材が乾き、硬化していることを確認してから通水します。硬化には、2日ほどかかるので、翌日以降の天気にも注意します。

水中パテ工法

目地の隙間や、水路のひび割れに水中パテを接着する工法です。水中パテは、水路内の水で濡れた面や水中でも施工できます。

- ① 水中パテの主材と硬化剤を混ぜ合わせます。伸ばす、たたむを繰り返すようによく混ぜます。硬化が始まる前（混合後30分程度）に使い切れる量を混合します。
- ② 混合した水中パテを手またはへらを使って、擦り付けるように目地に接着していきます。手で行う場合は、ゴム又はポリエチレン製の手袋を着用します。
- ③ 初期硬化は12時間程度、完全硬化は1～2週間程度かかります。（材料によって硬化時間は異なります。完全硬化までは、過度な衝撃等を与えないようにします。）



シーリング工法完了時



水中パテを目地に接着している状況

テープタイプ工法

- ① 専用プライマーをはけ等でシート幅以上に広めに塗布します。
- ② シートを必要な長さに切断します。
- ③ 接着面をガスバーナーであぶります。やけどの恐れがあるので、耐火性に優れた手袋を使用します。端の方は、金属製の tong などを使って、やけどしないようにします。
- ④ あぶった部分を手袋をした手などで水路面に押しつけて接着します。あぶった部分が溶けているうちに押さえるようにします。
- ⑤ バーナーであぶって、接着する作業を少しずつ繰り返し行っていきます。シートが足りなくなった場合は、1cm程度重ねて続けて施工する事ができます。
- ⑥ シートの接着が終わったら、シートの端部をバーナーであぶってコンクリート面となじませます。
- ⑦ 養生が終われば完成です。



シートをあぶっている状況



テープタイプの施工状況